

迂回道路計画の概要

1 はじめに

発電所敷地から離れた場所に迂回道路を建設し、県道43号と交換させて頂くことを検討しています。

なお、ルートについては、川内河口大橋付近を起点とし、みやま池付近を終点と考えています。

2 目的

- (1) 発電所周辺の地域住民の交通安全の確保と原子力発電所の運用性向上
 - ・ 発電所周辺の交通安全に寄与し、また万が一の災害時には円滑な事故収束作業が可能となる。
 - ・ 現在の県道43号を災害時に資機材や防災車両等の受入れエリアとして活用できる。
- (2) 原子力発電所の防護対策の強化
 - ・ 発電所に容易に近づけないようにできる。
- (3) 避難道路の充実
 - ・ 発電所に近づかずに避難することが可能となり、複数の住民避難ルートが確保できる。

3 計画の主な流れ



4 計画ルート



概要図

以上

現地調査の概要について

1 調査内容

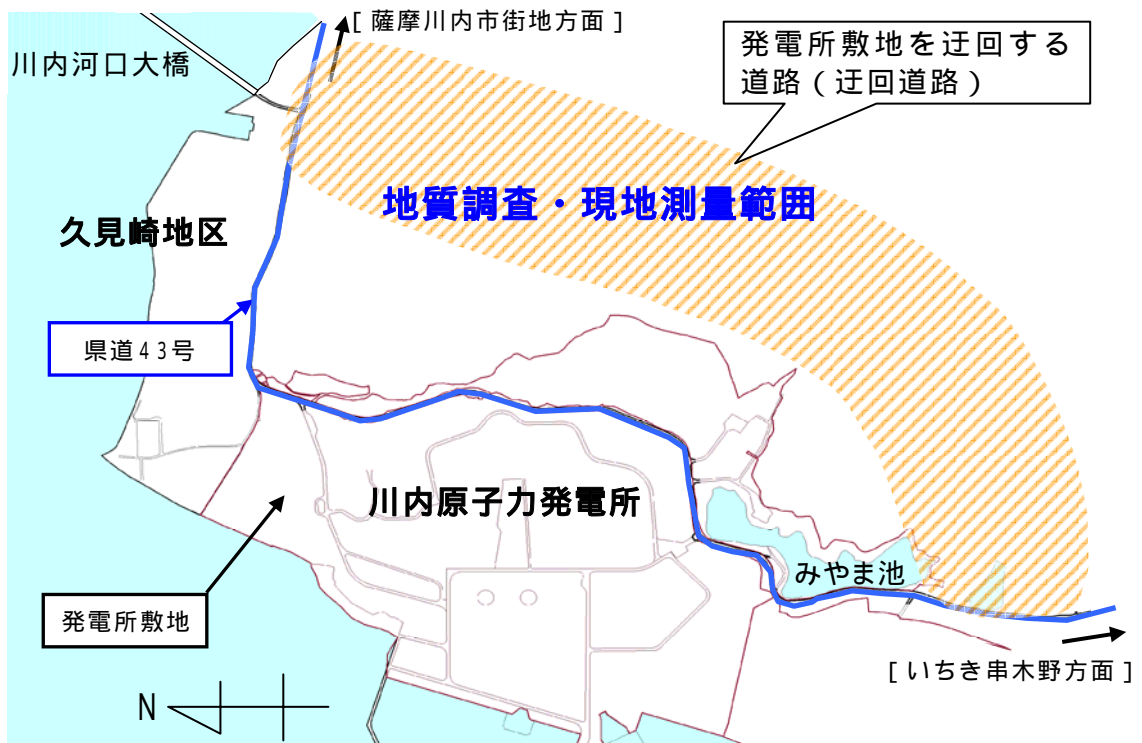
川内河口大橋付近からみやま池付近一帯における迂回道路建設に係る地質調査及び現地測量を実施します。

調査項目	目的
地質調査	道路の設計に必要な地質情報を得るための調査 (ボーリングによる軟弱地盤の有無、土砂、岩の厚み等の確認)
現地測量	道路の用地交渉範囲の明確化、道路の詳細設計などに必要な測量

2 着手時期

平成28年4月予定

3 調査範囲



概要図

以上